

new SCM11
2-way MONITOR SPEAKER SYSTEM



プロのレコーディング現場では、ATCのモニタースピーカーは多くのエンジニアに十二分な高解像度とダイナミックレンジを提供して素晴らしい評価を得ています。その高度なパフォーマンスを新しいSCM11はATCのややコンパクトなサイズのスピーカーで提供します。新しいシリーズはティアドロップ型のキャビネットで、新型ATC自社製トゥイーターをあしらっています。

広いダイナミックレンジと極めてアキュレイトな再生音、この小型モニターの高解像度能力は、すべてのレコーディングエンジニアの努力を尊重して再現します。

SCM11にはATCの最新「CLD (Constrained Layer Damping)」技術を取り入れています。ミッドバスドライバーには中域に重要な意味を持つ45mmφのソフトドームを付けています。

特別にSCM11に採用した新しいCLD技術は、広い面積のウーファーでは避けられないコーンレイヤーの分割振動を制御するもので、これはドライバーからシステムパフォーマンスそして音楽再生へのステップチェンジを表します。

その利点は、通常のコーン紙と比べてハーモニックディストーションを300Hzから3kHzにわたって減らし、伸長された周波数帯域を持ち、クロスオーバーフィルターのスロープ上の制約を取り払い、スピーカー軸上を外れた範囲での周波数レスポンスも向上させます。ウーファーのポールピースはアンダーカットされ、対照的な磁束の中でボイスコイルが正確に駆動されます。

高域のソフトドーム・トゥイーターは、7年の開発期間を経て自社開発されました。25mm口径で、強力なネオジウム磁気回路と繊細な高域表現と指向性の為にATC独自のアルミ精密ウェーブガイド備えています。ネットワークも余裕の耐圧を持つパーツで構成され、全帯域がフラットなインピーダンスになるようデザイン、アンプに優しい設計となっています。

キャビネットは ATC 初のティアドロップ型で重量ドライバーを支える強固なバッフルは、フラットになっています。これらの構成要素はこの稀なニュースピーカーシステムにおいて、広いバンド帯域、広いダイナミックレンジに貢献しています。SCM11 の指向特性は水平方向に 80°の広さを持ち、ステレオやマルチチャンネルのインストールにとっても非常に有効で、正確なモニタリングのバックボーンとなっています。

キャビネット仕上げは本ツキ板のチェリー仕上げまたはブラックアッシュ仕上げが選択できます。ATC のミニモニターとして、SCM7 はブックシェルフ、スタンディング、ニアフィールド・モニターなど多くの用途で高い音楽性を誇ります。サランは音質に影響の少ない透過性に優れたメタルネットカバーで、マグネットキャッチとなっています。ATC の小型モニターとして、SCM11 はブックシェルフ、スタンディング、ニアフィールド・モニターなど多くの用途で高い音楽性を誇ります。



精密ウェーブガイド付 ATC ツイーター



強力 CLD ウーファー



スピーカーターミナル

製品仕様

- 形式：2 ウェイ 2 スピーカー / 密閉型
- 使用ユニット：
 - ツイーター・new25mmφ ソフトドーム / ネオジウムマグネット
 - ミッド / ウーファー・150mmφ 特殊コートポリエステル織コーン CLD
- 再生周波数帯域：-6dB・56Hz ~ 22kHz
- クロスオーバー周波数：2.2kHz
- 推奨パワーアンプ：75-300w
- 出力音圧レベル：85dB/W/m
- 最大音圧レベル：108dB/SPL/(1m/ 連続入力)
- インピーダンス：8Ω
- 指向特性：水平 ±80 度 / 垂直 ±10 度
- 外形寸法：232W×381H×236D (mm) サランネット含む / ターミナル別
- 入力スピーカー端子：ジャンパー付結線ポスト / 4mmφ プラグ (バイワイヤリング対応)
- 重量：10.9kg (1 本)
- 仕上げ：Cherry or Black ash
- 価格：240,000 円 (2 本 1 組、税別)